

「未来に戦争いらない」



思い思いのプラカードを掲げて歩く若者憲法デモ参加者=11日、東京都千代田区

若者憲法集会 1500人デモ

銀座反響「社会変えられる」

「私たちの未来に戦争いらない!」。慶田政権による大甲拡に反対し、憲法を生かした政治を実現しようと11日、4年ぶりとなる若者憲法デモが東京・銀座で行われました。雨が降る中、デモが進むにつれて隊列が伸び、1500人（主催者は開港）が参加。「暴力で平和は守れない」などのフラカードを掲げながら、リズムにのせて「敵軍攻撃能力対応」「の緊密化、絶対反対」と元気なペールしました。沿道や自動車の中から手を振る人、スマホで撮影する人も、大きな注目を集めました。主催は「若者憲法集会実行委員会」です。

→関連の記事

「子どもには北海道から沖縄まで全国の青年が参加。樂金旅行券が贈りかけた賛同アートホール若者部も抜けなから、各種バスを貸し切るなど参加を広げてきました。」
「子どもでは、サウンドカードの青年がスローアップをめざしている大阪府の学生(2)は、「私たちは戦争をやめていない。憲法を生かした政治の実現を目指します。」

「憲法の廃止をめざす(1)は、大阪府立の小中生を参加し、「と憲法を語りました。」た奥西さん(2)は、「私の同世代が憲法をあげて、山本拓也参議院議員が参りました。誰もが安心して暮らせる社会をつくりたい」と語り、静岡県呼びかけると、高崎市の方の「戦争になれば駆り出されるのは私たちだともいの」から参加した高校生(17)は、「デモが先立ちスイン楽会で開運企画を開催しました。」

6/13 金後

軍拡NO! 声届け

全国各地から青年や学生、高校生が集まり、岸田文雄政権による改憲の動きと戦争する国づくりにノーザンの声を上げた11日の若者憲法集会。小雨が降る中のデモ行進には約1500人が参加し、リズムに合わせて「日本を戦争国家にするな」「政府は国民の声を聞け」と東京・銀座の街にコールを響かせました。

カラフルな折り鶴を持った歩いた私立大学3年の男性(20)は「広

島市)は「自民党の改憲草案を読んで、国民の基本的人権が軽視されている」と感じた。憲法を変えてはいけないと思う。被爆地の市民として、戦争を起こして核兵器が使われることを許さない」と力を込めました。

岸田政権が敵基地攻撃能力の保有と大軍拡を進めていることにも抗議の声が上がりまし

た。埼玉県の男子高校生(17)は「軍事費を増やすより生活の質を

島市)は「自民党の改憲草案を読んで、国民の基本的人権が軽視され

田政権に怒りをあらわにした福島市の松本友子さん(29)は「東日本大震災と福島第一原発事故の発生から12年がたっても被災者の人権はないがしうにされ

ている。憲法ではなく政治を変えたい」と意

志も持つ。平和もほしい

若者憲法集会



コールをあげながら行進する若者たち。東京都千代田区

ら就労支援事業所で働いています。年金生活の祖母と2人暮らしの「病院で働いていた

ことに生活困窮で十分な医療を受けられない人をみてきた」という

法25条の通りに、誰もが健康で文化的な最低限度の生活を保障される社会になつてほしい」と語りました。

東京都練馬区)は「憲

山県の男性(27)は、「発達障害を抱える富士見の高齢者(80)は、「